

平成23年度 アクションプログラム実施メニュー取組結果表

沖縄森林管理署

取組名	「古事の森づくり」支援（森林環境教育の実施等）（継続）	
流域名	沖縄北部流域	
重点事項番号	②－23、⑥－61、⑥－62	
実施箇所及び実施日	安波国有林(第1回)(古事の森)：平成23年11月6日 東村立高江小学校(第2回)：平成24年2月2日	
取組の背景及び必要性	沖縄県の首里城復元、修復に使用されるイヌマキ材の生産(供給)について、「古事の森」制度により「首里城古事の森育成協議会」を設立して森林管理署と協定を締結(H20.11月)し、イヌマキを植栽する取組を行う。	
取組の内容	<p>【全体の取組内容】 取組予定期間：H20年度～H24年度 取組内容：平成20年度～平成22年度の3年間で、イヌマキ400本を植栽。施業方法及び病虫害の駆除体制の確立を図る。</p> <p>【これまでの取組内容】 協議会会員及び児童等によりイヌマキ400本を植栽、保育活動(施肥等)、病虫害「キオビエダシヤク」の駆除、地元小学校児童への森林環境教育等を実施した。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 保育活動(施肥、受光伐等)、病虫害「キオビエダシヤク」の駆除、森林環境教育等を実施した。</p>	
	国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署 (保育等指導、森林環境教育の実施)
	連携協働相手先・役割	首里城古事の森育成協議会、地元小学校 (施肥等保育活動)
取組の結果、反響、今後の課題等	児童に対して、森林の働き等について理解が深められた。 また、イヌマキの施業方法や病虫害「キオビエダシヤク」の防除方法の確立のための調査を実施した。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、署ホームページへの掲載。 効果：教育関係機関と連携した森林環境教育を推進するとともに、イヌマキの施業方法と「キオビエダシヤク」駆除体制の確立を図る。	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担
(1) 現地までの交通費等 (2) 保育等に係る準備(肥料代等)費 (3) 歩道整備等(労賃) (4) 森林環境教育材料費等		
合 計		

【参考資料】

取 組 名 「古事の森づくり」支援（森林環境教育の実施等）

○親子による施肥の様子



○児童による受光伐調査



○枝条整理体験



○木工椅子づくり（高江小学校）



○森林教室の様子（高江小学校）



平成23年度 アクションプログラム実施メニュー取組結果表

沖縄森林管理署

取組名	生物多様性保全のための共同研究の取組（継続）	
流域名	沖縄北部、宮古八重山流域	
重点事項番号	⑤－53	
実施箇所及び実施日	国頭村外：平成23年4月17日～平成24年3月31日 西表島：平成23年4月17日～平成24年3月31日	
取組の背景及び必要性	南西諸島は希少野生動植物種の宝庫とされ、生物の多様性は極めて高く、国有林はその希少な野生動植物種の重要な生息地となっているため保全が必要である。	
取組の内容	<p>【全体の取組内容】 取組予定期間：H22年度～H24年度 取組内容：希少野生動物種について、研究機関等と自動カメラ調査による共同研究を実施するとともに、生息地の把握及び生息環境の保全に取り組む。</p> <p>【これまでの取組内容】 研究機関（琉球大学）と自動撮影カメラ調査（対象種：ヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコ等）による共同研究を実施し、生息地の把握及び生息環境の保全に取り組んだ。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 研究機関（琉球大学）と自動撮影カメラ調査（対象種：ヤンバルクイナ・イリオモテヤマネコ等）による共同研究を実施し、生息地の把握及び生息環境の保全の取組を行った。</p>	
	国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署 (データ収集及び取りまとめ)
	連携協働相手先・役割	<沖縄北部流域><宮古八重山流域> 琉球大学(自動撮影カメラ調査、データ解析及び研究助言)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p><沖縄北部流域> 巡視における取組結果として、外来植物（アメリカハマグルマ・インパチェンス等）の侵入が観られることから、今後も巡視やモニタリング調査等を継続して実施する必要がある。</p> <p><宮古八重山流域> イリオモテヤマネコを捕獲し、生息区域及び生息環境の把握を行い、その保全に取り組んだ。今後もモニタリング調査が必要なことから継続実施の必要がある。</p>	
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：森林の流域管理システム推進発表大会での発表等を通じてPR 効果：希少野生動植物種の保全の取組を発表したことにより、広く関係機関マスコミ等に、生物多様性保全の普及啓発が図られる。</p>	
取組の実施に要した経費（単位：千円）		
取組の概要（内訳）	国有林負担	相手先負担
合 計		

【 参 考 資 料 】

取 組 名	生物多様性保全のための共同研究の取組
-------	--------------------

○森林の流域管理システム推進発表大会の様子



○ヤンバルクイナ



○イリオモテヤマネコ



○カンムリワシ



○侵入が見られるアメリカハマグルマ



○侵入が見られるインパチェンス

